

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第255回)

日時 平成29年11月28日(火) 午後1時半～3時半
場所 参議院議員会館 地下1階 B105会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B105会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について想う
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、平成29年上半期の交通死亡事故の特徴等
 - 3、平成29年秋の全国交通安全運動の実施
 - 4、交通事故統計(9月末及び10月23日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る10月24日開催の第254回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について」と題して開会挨拶がありました。今月最大のトピックは、東名高速で起きたあおり運転に起因する死亡事故である。交通トラブルに起因して起きる交通事故は毎年1200件ほど起きており、その8割が一般道で起きているという。もし運転中に威嚇行為を受けたら、一般道ならコンビニエンスストア、高速道路ならパーキングエリアまで逃げ、窓は決して開けない。車を止めたら110番通報する

のが最良で、挑発に乗って車道へ出てしまうと、このような悲惨な事故につながってしまうこともある。ドライブレコーダーが取り付けられていなくても、録画中というシールを貼っておくだけでトラブル回避もできる。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「平成29年秋の全国交通安全運動の実施」について解説がありました。秋の全国交通安全運動は、9月21日～30日の1日間、子供と高齢者の交通事故防止、薄暮時の事故防止、シートベルト・チャイルドシートの全席における適正な着用、飲酒運転根絶を重点とし、ハイビームの使用励行や運転免許の自主返納支援なども行っていく。

次に、「平成29年上半期の交通死亡事故の特徴等」について解説がありました。全年齢層で死者数は減少しているが、死亡事故に占める高齢者の割合は上昇を続けている。また、秋の交通安全運動を見据え、シートベルトの着用状況に係る分析を行った。運転席や助手席は着用率が98%程度を占めているため着用と非着用で致死率に差は出ないが、後部座席では着用率が一般道では36%、高速道路70%に留まっており、致死率も3.8倍になっている。若者層で特に非着用率が高く、友人・知人が死亡に至る比率が高い。チャイルドシートについては、幼児の死者70%が不使用である。シートベルト非着用のほか、大人用シートベルト着用や抱っこなど、一見安全に見えても死亡事故に至るケースがある。全席におけるシートベルト着用の徹底と、チャイルドシートの適正着用の指導を進めていく。

次に、「交通事故統計」について解説がありました。部会前日（9月25日）までの死者数は2551人で、前年比148人の減。8月は減少し、9月は微増という状況である。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出ました。◎チャイルドシートも反射材のように無料配布してはどうか。◎親しき中にも礼儀ありの言葉通り、友人同士であっても後部座席シートベルト着用を勧めるべきだ。それで着用率が上がらなければ一般道でも義務化の方向に行くだろう。◎高齢者の免許返納が今年に入って増加傾向にある。などの意見が出ました。

★ 資料代 会員500円
次回、11月28日（火）の交通部会（参）に

出・欠 （いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
（その際の会費は二千円となります。）

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

H P <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp